

劇場映画企画

北の流氷

(仮)

襟裳岬を甦らせた漁師たちの実話

映画「北の流氷」(仮題) 製作準備委員会

北海道 えりも町 浦河町 様似町 広尾町 日高信用金庫

協力：株式会社クリエイターズユニオン

物語の舞台

流水地帯



えりも砂漠とも呼ばれた一帯

えりも緑化事業年表

- **1952年(昭和27年)** 広川弘禅農林大臣、襟裳岬の砂漠地帯を視察
- **1953年(昭和28年)** 襟裳岬集落にえりも治山事業所設置
えりも緑化事業開始
- **1957年(昭和32年)** 草本緑化に「えりも式緑化工法」を正式に採用
- **1961年(昭和36年)** 飛砂防備保安林に指定
- **1964年(昭和39年)** 道立公園第一種特別地域に指定
- **1970年(昭和45年)** 草本緑化完了
- **1971年(昭和46年)** 木本緑化開始
- **1974年(昭和49年)** 森進一「襟裳岬」発売
- **1981年(昭和56年)** 日高山脈襟裳国定公園に選定
- **1983年(昭和58年)** 「日本の名松100選」に選定
- **1984年(昭和59年)** 奇跡の流氷
- **1987年(昭和62年)** 「日本の白砂青松100選」に選定
- **1992年(平成4年)** えりも岬国有林緑化事業40周年記念
「'92緑と魚のフェスティバル」開催
- **2006年(平成18年)** えりも町緑化事業を天皇皇后両陛下 行幸啓
- **2023年(令和5年)** えりも町緑化事業 70周年

監督プロフィール

田中 光敏

(株式会社クリエイターズユニオン)



1958年生まれ。北海道浦河町出身。

1984年映画・CMの制作会社(株)クリエイターズユニオンを設立。

2010年より、北海道浦河町観光大使。2017年より、越前あわら観光大使。

大阪芸術大学 芸術学部 映像学科学科長。和歌山大学 国際観光学研究センター客員研究員。

映画デビュー作『化粧師-kewaishi』(2001年)は、第14回東京国際映画祭・コンペ部門出品、上海国際映画祭招待作品となり、その美しい色彩感覚や情緒豊かな映像美が世界的に高く評価される。続く、『精霊流し』(「2003年)は、さだまさしの原作を映画化し、第21回日本映画復興奨励賞受賞。『火天の城』(2009年)は、新しい時代劇映画として高い評価を受け、ムンバイ国際映画祭の招待作品となる。市川海老蔵主演の『利休にたずねよ』(2013年)では、第37回モントリオール世界映画祭・最優秀芸術貢献賞を受賞、第37回日本アカデミー賞で作品賞・主演男優賞をはじめ9部門で優秀賞を受賞。第30回山路ふみ子文化賞、2014年おおさかシネフェスティバル監督賞受賞。『サクラサク』(2014年)は、さだまさし原作のロードムービーで、第38回モントリオール世界映画祭フォーカス・オン・ワールドシネマ部門の招待作品となる。第1回アジア国際映画祭にて最優秀監督賞受賞。

そして2015年に公開された日本とトルコのコラボ映画『海難1890』では、実際、明治に紀伊半島沖で起こったトルコ船エルトゥールル号の救出劇と、その恩返しにイラン・イラク戦争の最中、テヘランに取り残された日本人脱出に手を差し伸べたトルコとの国と国との友情を見事に描き、第39回日本アカデミー賞で作品賞、監督賞、脚本賞など10部門で優秀賞受賞。

2020年12月公開、三浦春馬主演の青春幕末映画『天外者』。
第94回キネマ旬報、読者選出日本映画ベスト・テン第一位『天外者』、
読者選出日本映画監督賞第一位のW受賞。
第13回東京新聞映画賞「大切な人に薦めたい映画」第一位受賞。
第34回日刊スポーツ映画大賞石原裕次郎賞の「ファンが選ぶ最高作品賞」受賞。

三重県を舞台にした新作映画『親のお金は誰のもの ～法定相続人～』2023年10月全国公開。
現在は日本とフランスのコラボ映画『ロダンと花子』を準備中。

脚本家プロフィール

小松 江里子

大阪府出身。1991年『卒業』（TBS）でデビュー。

その後、数々のドラマの脚本を担当。

常に視聴者を共感させる人間愛を描くことのできる、日本を代表する脚本家。

代表作として、2008年のNHK朝の連続テレビ小説『どんど晴れ』、

2009年のNHK大河ドラマ『天地人』、

2015年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』がある。

東海テレビで2010年～2015年まで放映された「花嫁のれん」（シーズン1からシーズン4）は、

現在、日本ほか世界四十か国で放送中。

映画では、『利休にたずねよ』、『サクラサク』、2020年12月公開の『天外者』など。

ドラマは、「理想のオトコ」（テレビ東京）、「大富豪同心2」（NHK）、「コールドゲーム」（東海テレビ）などがある。

2008年、日本人の心や人の触れ合いを取り上げ、放送文化に大きく貢献したとして、『橋田賞』を受賞。

2009年、日本映画テレビプロデューサー協会が選定するエランドール賞で『天地人』が作品書を受賞。

2016年、日本トルコ合作映画としてして大きな注目を集めた『海難1890』（田中光敏監督作品）で、

第39回日本アカデミー賞 優秀脚本賞受賞。

2021年、第94回キネマ旬報、読者選出日本映画ベスト・テン第一位『天外者』

第13回東京新聞映画賞「大切な人に薦めたい映画」第一位受賞。

